

農山漁村宿泊体験の現状と課題
ー宿泊体験受入者の意向調査及び実態調査結果ー

目 次

はじめに	1
1. 研究の課題	1
2. 本報告書の構成	2
第1章 農山漁村宿泊体験をめぐる背景と近年の動向	3
1. 農政・農村側での背景	3
2. 教育側での背景	6
3. 子供宿泊体験	8
第2章 宿泊体験の取組に関するアンケート調査結果	9
1. 調査の内容と方法	9
(1) 調査内容	9
(2) 調査方法	9
2. 調査結果	10
(1) 調査対象者の概況	10
(2) 宿泊体験の月別受入者数	14
(3) 宿泊体験の受入人数	15
(4) 宿泊体験受入の目的	15
(5) 農山漁村体験プログラムの実施割合	17
(6) 生活体験の実施	19
(7) 体験や宿泊受入に際して心がけていること	21
(8) 宿泊体験による収入額と収入に対する評価	25
(9) 雇用・ボランティアの導入状況	27
(10) 料金収入以外の経済効果	28
(11) 体験前後の子供の変化	30
(12) 宿泊体験受入の感動・楽しさ	32
(13) 宿泊体験による集落・地域への効果	34
(14) 望ましい泊数と同宿人数	36
(15) 今後の取組意向	38
(16) 体験を提供するにあたっての課題	41
(17) 食事・宿泊を提供するにあたっての課題	44

(18) 宿泊体験の質向上のための取組	46
3. 分析結果のまとめ	46
(1) 宿泊体験受入者の特徴	46
(2) 宿泊体験取組の現状	47
(3) 取組の評価	48
(4) 今後の取組	49
第3章 農山漁村宿泊体験の受入地域事例	51
1. 農山漁村宿泊体験の地域タイプと事例の位置づけ	51
2. 新潟県妙高市（既設民宿タイプ）	54
3. 石川県能登町（新設民宿タイプ）	60
4. 大分県西部地区（宿泊体験民宿タイプ）	67
5. 沖縄県伊江村（宿泊体験民宿タイプ）	73
6. 岩手県花巻市（宿泊体験民泊タイプ）	79
7. 和歌山県白浜町日置川地域（宿泊体験民泊タイプ）	86
8. 事例のまとめ	96
おわりに	100
1. 分析結果のまとめ	100
2. 今後の展望と課題	101
引用文献・参考文献	103
巻末資料（教育交流における宿泊体験の取組に関する意向調査調査票）	105

— [編集・執筆分担] —

[編集] 小野智昭・鈴木源太郎

[執筆]

小野 智昭（農業・農村領域上席主任研究官）

はじめに, 第1章, 第2章, 第3章1, 6, 8, おわりに

鈴木源太郎（元農業・農村領域主任研究官、東京農業大学国際食料情報学部准教授）

第2章, 第3章4

中尾 誠二（成美大学経営情報学部准教授）

第3章2, 5

佐藤 真弓（明治大学農学部助教）

第3章3

高岸陽一郎（元・政策研究調査官、現（独）農業・食品産業技術総合研究機構）

第3章7